

うさぎとかめ通信

(週刊：園長室だより) 106周年

上越市立高田幼稚園

令和4年4月7日

第142号

「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本です。

子どもの姿から

【本園の第106回卒園式】→

令和4年度が始まりました。今年度もよろしくお願ひします。

お陰様で、3月23日(水)には、晴天のもとで卒園式を開催することができました。卒園児の皆さんは、堂々と見事な態度で式に参加しました。みんなで作り上げる穏やかであたたかい卒園式となりました。保護者の皆様に深く感謝申し上げます。これからの卒園児の皆さんの小学校での活躍と健康を心を込めて願っています。発表会に続き、卒園式もYouTubeのライブ限定配信を行いました。うめ組ともも組の皆さんにも見ていただけたことと思います。上越市学習情報指導員の箕田さん、ご支援ありがとうございました。

さて、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組み、「子どもの命と健康」を最優先して園運営を行います。これまでと同じく、保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願ひします。



春休み中の幼稚園では

【卒園式の式花】→

春休みの園では、こんなことがありました。

25日(金)：ついに園庭の雪が全て溶けました。今冬もたくさん楽しい雪遊びができました。

28日(月)：高田観桜会初日の26日に暴風が吹き荒れましたが、園舎等に被害はありませんでした。

1日(金)：新年度がスタートしました。職員体制はほぼ同じですが、心機一転がんばります。

5日(火)：高田観桜会は17日まで期間延長されました。園庭の桜のつぼみは紅色です。入園式には咲いてくれる見込みです。



キーワード

【園児の描いたお手紙など】→

○幼児の内面を理解すること

よりよい幼児教育を行うためには、一人一人の幼児に対する理解を深める必要があります。そして、幼児との温かい信頼に満ちた関係を築くことが大切です。文部科学省幼児教育課教科調査官の小久保篤子さんの文章を引用します。

『幼児の内面を理解する際には、幼児の行動や表情の小さな手掛かりから、言葉や行動の底にある幼児の気持ちを推測することが大切となる。活動への興味や関心はどうか、過去の体験との結び付きはどうか、意欲や意思の強さの程度はどうか、心情の状態はどうかなどを読み取ることが大切である。さらに、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に、自分なりに言語化して整理し、幼児理解を深めていくことが大切である。』

(引用：全国国公立幼稚園・こども園長会『幼児教育じほう』令和4年3月号)

